

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第25週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、
一貫して増加が続いている



注目すべき感染症
P.5-8

< マイコプラズマ肺炎 > 本年は過去5年間の同時期と比較して、報
告数が多い傾向にある

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第25週に報告された症例のうち、
年齢階級別では0～9歳が最も多い



病原体情報
P.9-10

ノロウイルス 2005年第20週(5/16～)以降 / ヘルパンギーナ患
者から検出されているコクサッキー - ウイルス 2005年 / ヒトから検
出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年



速報
P.11-13

保育園におけるGI、GIIノロウイルス混合感染事例 - 堺市 / 小学
校を中心としたノロウイルス集団発生 - 大阪府 / 小学校における
ノロウイルスGIの集団発生事例 - 島根県



海外感染症情報
P.14-16

インドネシアでのポリオ流行 / アンゴラでのポリオ流行 / ベトナム
での鳥インフルエンザ流行状況 / インフルエンザ活動性 - 米
国および世界各国 2004/2005年シーズン / アメリカ合衆国での
ウエストナイルウイルス活動性



感染症の話
P.17

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(25週)
P.18-24



25週のデータ
P.25-36



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第25週コメント> 6月30日集計分

全数報告の感染症

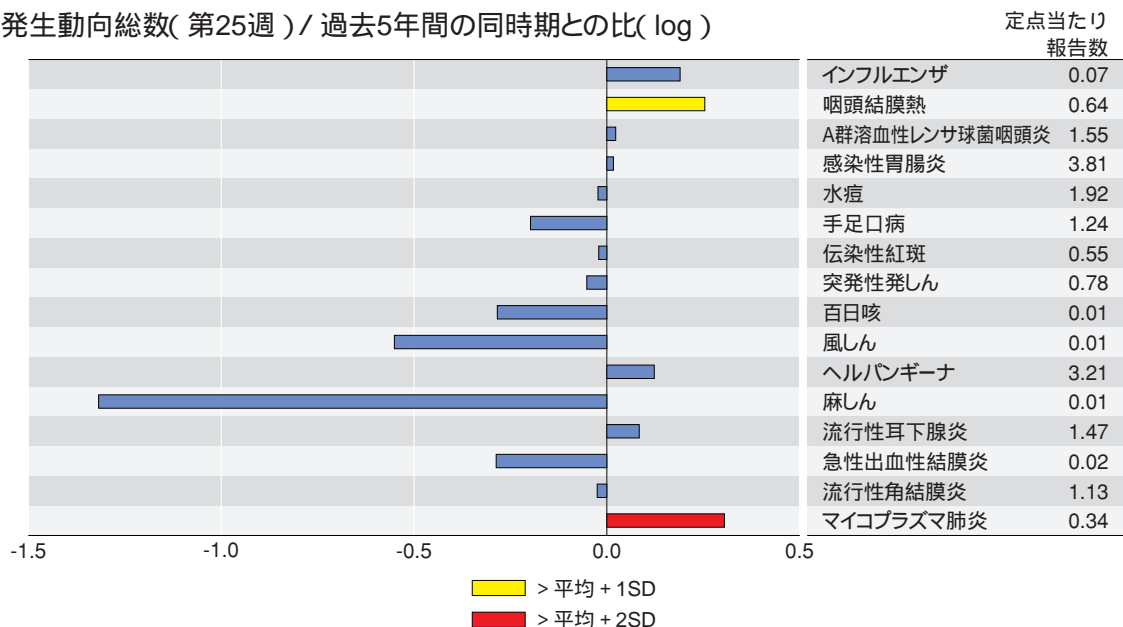
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 6例(推定感染地域: インド1例、ベトナム1例、スーダン1例、モロッコ1例、ベトナム/シンガポール1例、不明1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 88例(うち有症者65例)
 - 報告の多い都道府県: 千葉県(11例) 佐賀県(7例) 宮崎県(7例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(37例)、O157 VT2(16例)、O26 VT1(12例)、O157 VT1(4例)、O8 VT1(1例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、その他(14例)
 - 年齢: 10歳未満(37例)、10代(5例)、20代(11例)、30代(7例)、40代(6例)、50代(2例)、60代(5例)、70歳以上(15例)
 - 4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: オカメインコ)
 - つつが虫病 4例(山形県3例、群馬県1例)
 - デング熱 1例(推定感染地域: インドネシア)
 - 日本紅斑熱 1例(島根県)
 - マラリア 1例(熱帯熱__推定感染地域: マラウイ)
 - レジオネラ症 2例(40代1例、70代1例)
 - E型肝炎 1例
 - [推定感染地域: 国内、推定感染源: 生レバー(種類は不明)]
 - A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 11例
 - 推定感染地域: 国内9例、インドネシア1例、アジア1例
 - 推定感染経路: 経口1例、性的接触4例(異性間1例、同性間3例)、不明6例
 - ウイルス性肝炎 3例
 - [すべてB型__推定感染経路: 性的接触(異性間)2例、不明1例]
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(とともに孤発性 .70代1例、80代1例)
 - 後天性免疫不全症候群 11例(無症候7例、AIDS 3例、その他1例)
 - 推定感染経路: すべて性的接触(異性間3例、同性間8例)
 - 推定感染地域: すべて国内
 - ジアルジア症 1例(推定感染地域: ヨルダン)
 - 梅毒 5例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候2例)
 - 破傷風 2例(とともに70代)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
 - (遺伝子型: VanB__菌検出検体: 尿)
- (補)他に、細菌性赤痢1例、ジアルジア症1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして、つつが虫病1例(新潟県 .死亡)、E型肝炎2例(推定感染地域: とともに国内、推定感染源: とともに不明)、急性脳炎1例(病原体不明(9歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第25週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

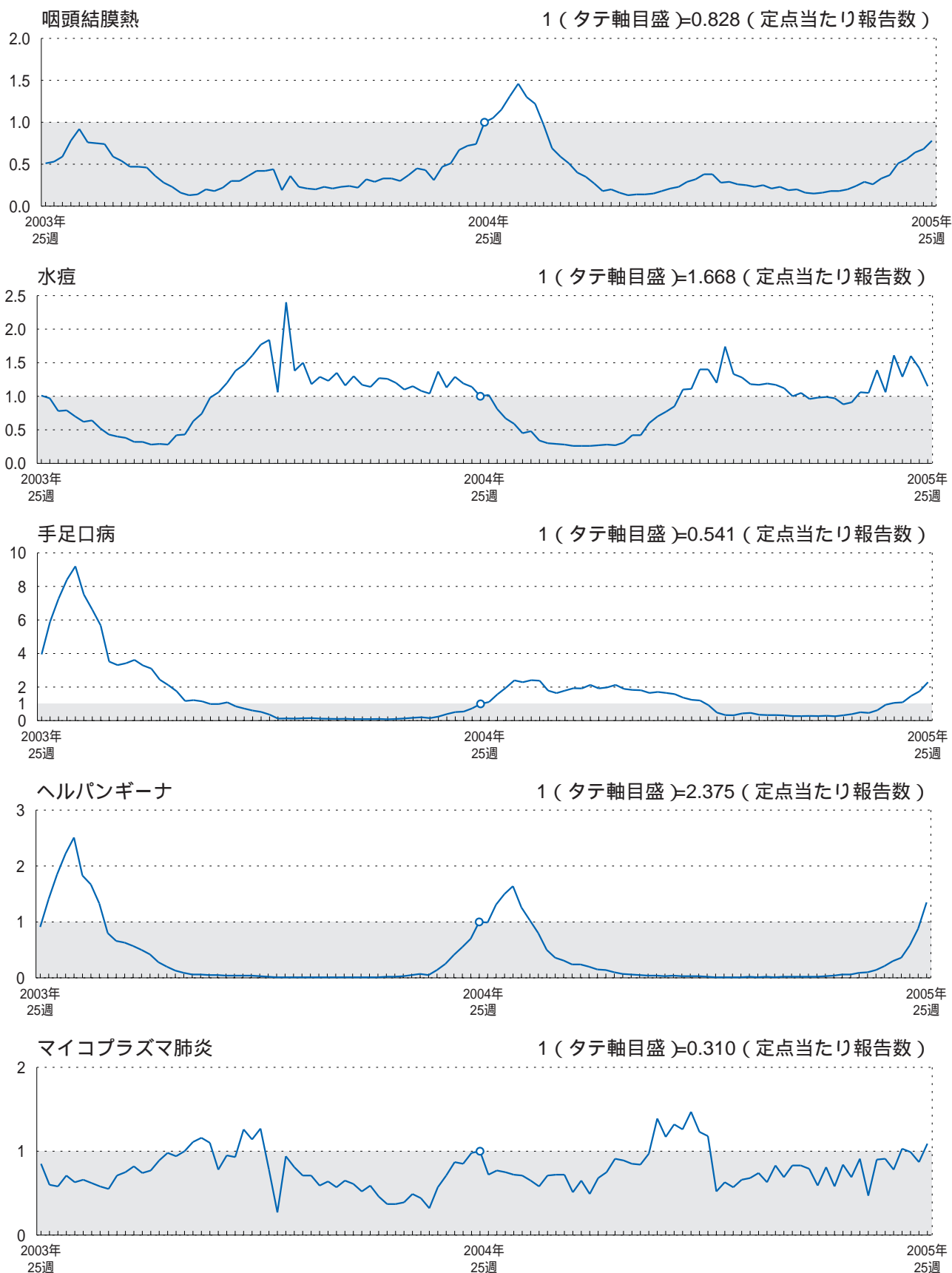
インフルエンザ定点報告疾患 : 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(3.84)、宮崎県(0.12)、長野県(0.11)が多い。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第18週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福岡県(1.8)、石川県(1.7)、福井県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続して減少している。都道府県別では山形県(2.7)、宮崎県(2.7)、茨城県(2.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4週連続して減少した。都道府県別では大分県(7.0)、鳥取県(6.5)、福井県(6.2)、福島県(6.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では福井県(2.8)、青森県(2.7)、静岡県(2.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第18週以降、増加が続いている。都道府県別では広島県(5.4)、沖縄県(5.4)、福島県(3.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福岡県(1.7)、神奈川県(1.4)、福島県(1.2)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では広島県(0.12)、高知県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では滋賀県(0.06)、岩手県(0.05)、群馬県(0.05)、宮崎県(0.05)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、一貫して増加が続いている。都道府県別では富山県(12.9)、三重県(11.8)、愛知県(6.4)、埼玉県(5.9)、山形県(5.8)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では群馬県(0.10)、千葉県(0.04)、徳島県(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加した。都道府県別では石川県(3.5)、広島県(2.8)、福井県(2.7)、熊本県(2.6)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて32都道府県から24例の報告があり、報告数は微増した。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県(2.2)、石川県(2.0)、岡山県(1.6)、埼玉県(1.4)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第25週)

2004年第25週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)を病原体とする呼吸器感染症であるが、定型的な細菌性肺炎と異なって重症感が少なく、胸部レントゲン像も異なると考えられ、かつては「異型肺炎」の一つに分類されていた。1999年4月施行の感染症法によって、病原体診断を含んだマイコプラズマ肺炎として発生動向調査が行われることとなった。

本疾患は飛沫感染で伝播する。感染には濃厚接触が必要と考えられており、実際に保育施設、幼稚園、学校などの閉鎖施設内や家庭などでの感染伝播がみられるが、短時間の曝露による感染拡大の可能性は低い。潜伏期間は2～3週間であり、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。本症の特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日後より始まることが多く、当初は乾性咳であるが、経過に従って徐々に増強し、解熱後も長期に渡って(3～4週間)持続する。年長児や青年では、後期には湿性の咳となることが多い。鼻炎症状、嘔声、咽頭痛、胸痛、喘息様気管支炎、さらには皮疹がみられることもある。

本症は基本的には予後良好な疾患であり、一般状態も悪化しないことが特徴とされてきたが、実際には重症肺炎となることもあり、胸水貯留も珍しくはない。その他の合併症として、中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎、肝炎、膵炎、心筋炎、関節炎、スティーブンス・ジョンソン症候群などがあげられる。

マイコプラズマ肺炎の発生動向調査は、全国の基幹定点医療機関からの報告によってなされている。年別にみると、2002～2004年にかけて報告数の増加がみられているが(図1)、血清IgM抗体を検出する迅速診断キットが普及したことも関係があると考えられる。従来、わが国では4年周期でオリンピックの年に流行がみられてきたが、近年この傾向は崩れつつある。季節的には通年性に発生が認められるが、過去5年間では冬季(第50週前後)にピークがみられ、またこの3年間では夏季(第25週前後)にも小さなピークがみられている(図2)。また、本年は今までのところ、

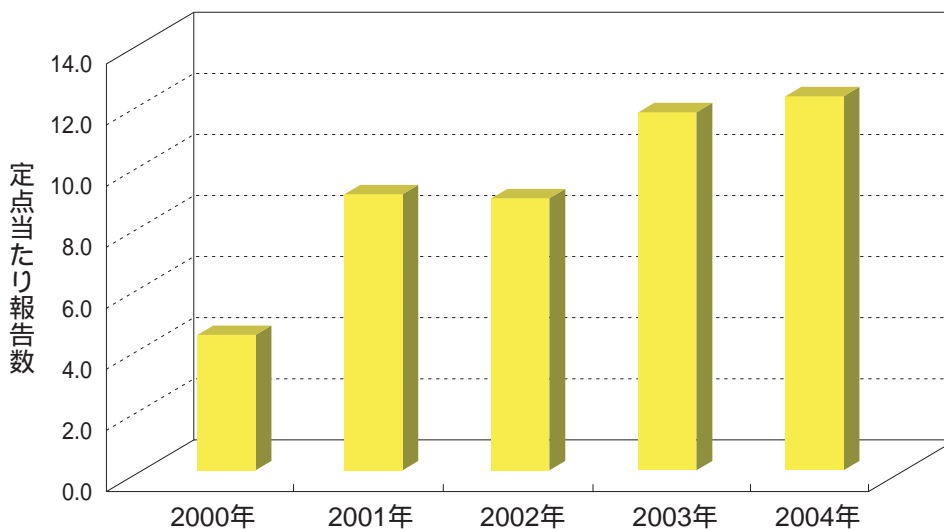


図1. マイコプラズマ肺炎の年別発生状況(2000～2004年)

過去5年間の同時期と比較して報告数が多い傾向にある。2000～2004年の過去5年間の報告の年齢別割合では、9歳以下が60%以上、14歳以下が80%以上を占めており、発生の中心は小児である(図3)。

現在は夏季の疾患発生のピークに当たる時期であり、その発生動向には今後とも注意が必要である。

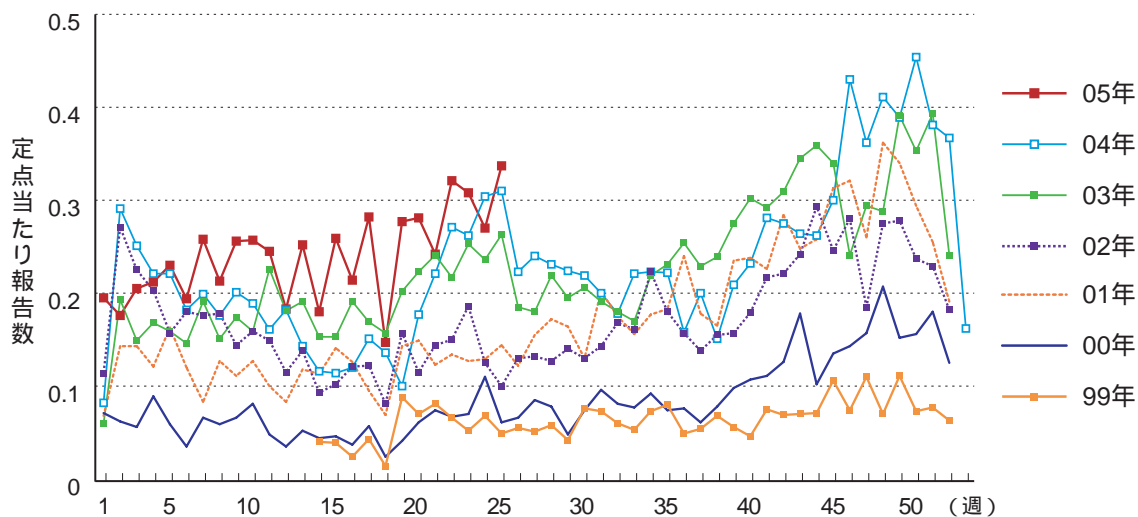


図2. マイコプラズマ肺炎の年別・週別発生状況(1999～2005年)

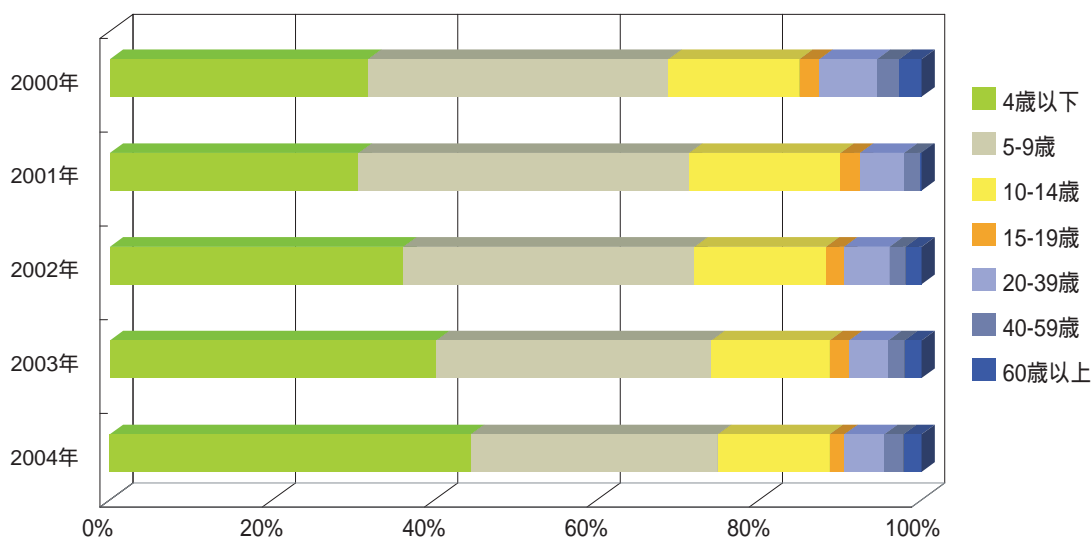


図3. マイコプラズマ肺炎報告症例の年別・年齢別割合(2000～2004年)

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素(Verotoxin=VT)を産生する大腸菌、すなわち腸管出血性大腸菌による腸管感染症である。大腸菌は多くの血清型に分類されており、そのうちVT産生性のものは数十種類に及ぶ。わが国ではO157が最も多く、次いでO26、O111が多い。本症は感染症法の三類感染症として、患者及び無症状病原体保有者の届け出が診断したすべての医師に義務づけられている。

2005年の報告数は第20週に50例を超えた後、徐々に増加し、第23週には100例を超えた。第25週の報告数は88例で、第25週までの累積報告数は758例(2002年794例、2003年570例、2004年758例)であり、現在までのところ2004年と同程度で、例年に比べて特に多いとは言えない(図1)。

第25週に報告の多かった都道府県は千葉県(11例)、佐賀県(7例)、宮崎県(7例)であり、累積報告数では大分県(73例)、大阪府(49例)、宮城県(42例)、愛知県(42例)、福岡県(42例)が多い(図2)。

第25週に報告された88例のうち、性別では男性32例、女性56例であり、年齢階級別(10歳毎)では相変わらず0～9歳(37例)が最も多く、約40%を占める。また、有症状者は65例(74%)で、無症状病原体保有者が23例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、溶血性尿毒症症候群(HUS)が1例報告され、累積では12例となったが、年齢では10歳未満が7例(うち5歳未満は5例)で、10代3例、50代1例、70代1例であった。今年に入ってから感染症法の下での死亡例の報告はないが(6月30日現在)、最近北海道で4例の死亡が公表されている。

血清型・毒素型別では、第25週はO157 VT1・VT2(37例)、O157 VT2(16例)、O26 VT1(12例)の順に多く、累積報告数では、O157 VT1・VT2(264例)、O157 VT2(183例)、O26 VT1(146例)の順に多い。

今後本症の発生が増加する盛夏に向かうが、すでに施設などにおける集団発生がみられているので、十分な警戒が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することも大切である。

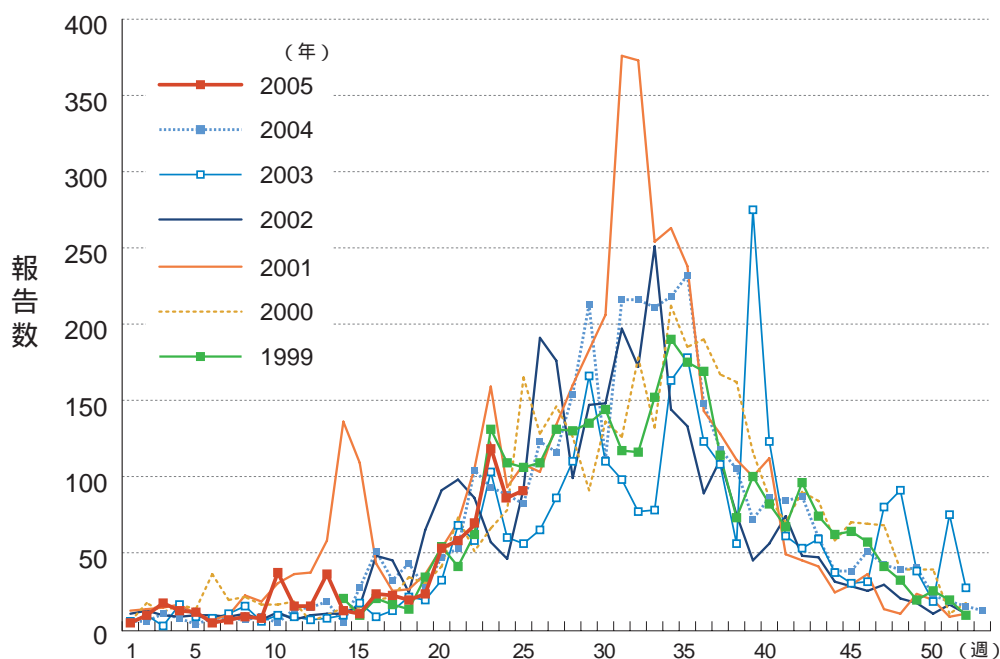


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

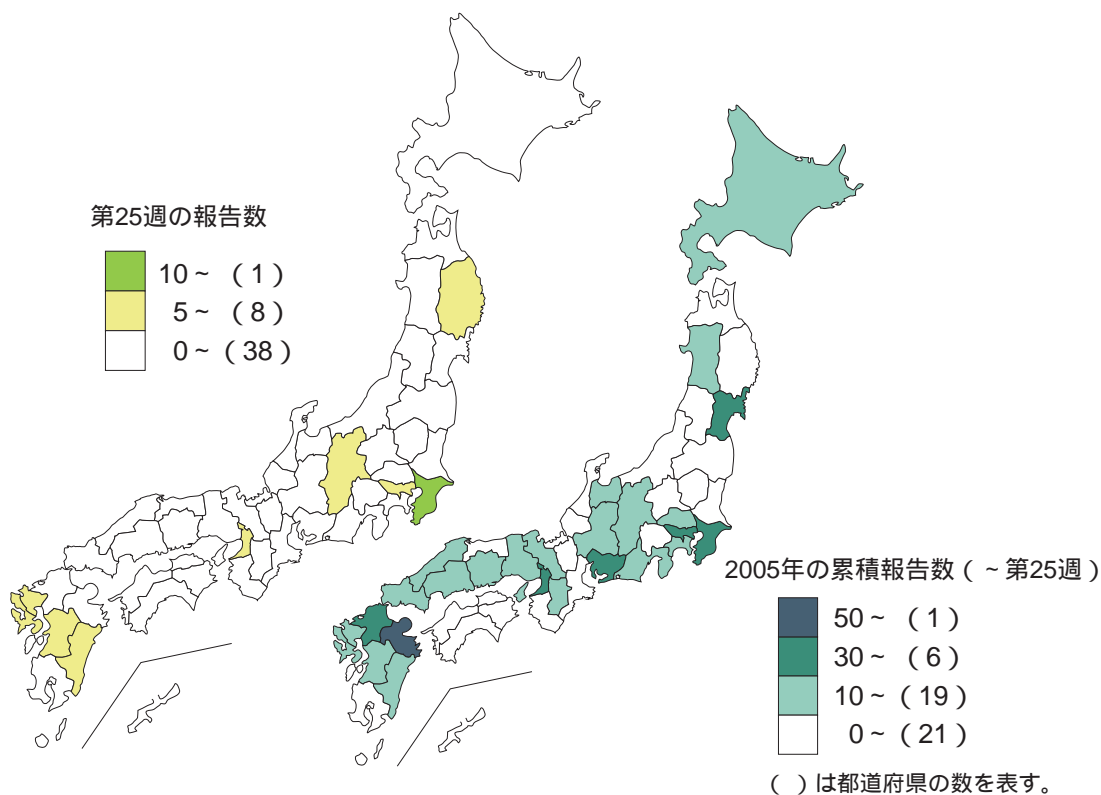


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

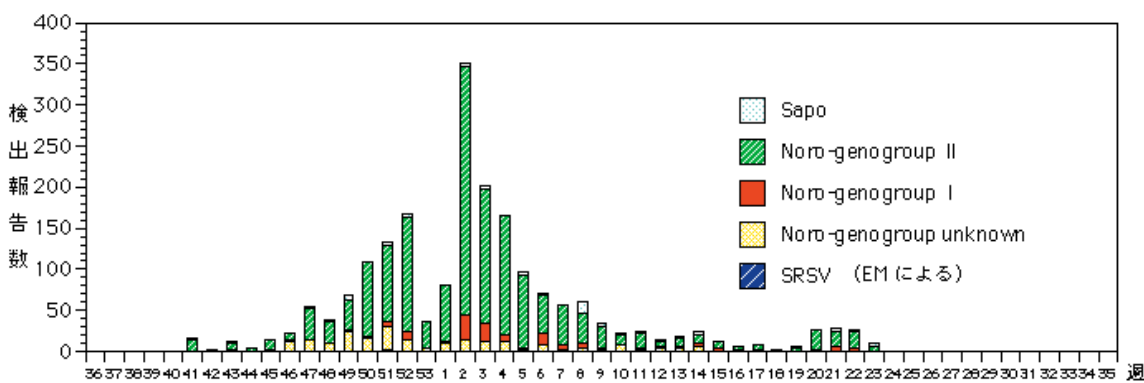
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年7月1日現在報告分)

ノロウイルス 2005年第20週(5/16～)以降

2004/2005シーズンはgenogroup(G)IIが主に検出されている。第15週以降の報告は少なかったが、第20～23週に増加し、GIIが23、18、21、7件、GIが2、6、4、0件報告されている。大阪府、島根県から小学校、保育所、幼稚園での集団発生事例が報告されている(本号11～13ページ「速報」参照)。

検出されたSRSVの内訳、2004/05シーズン (病原微生物検出情報: 2005年7月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



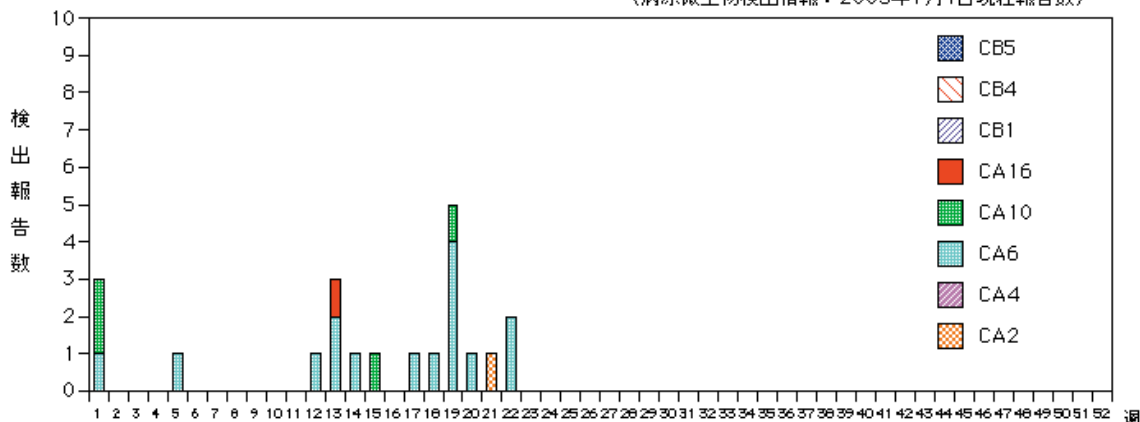
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキー - ウイルス 2005年

2005年はコクサッキーウイルスA6型(CA6)が15件、CA10が4件、CA2、CA16が各1件報告されている。CA6は愛知県5、愛媛県、奈良県各4、島根県、福岡県各1件検出され、CA10は愛知県で検出されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2005年

(病原微生物検出情報: 2005年7月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

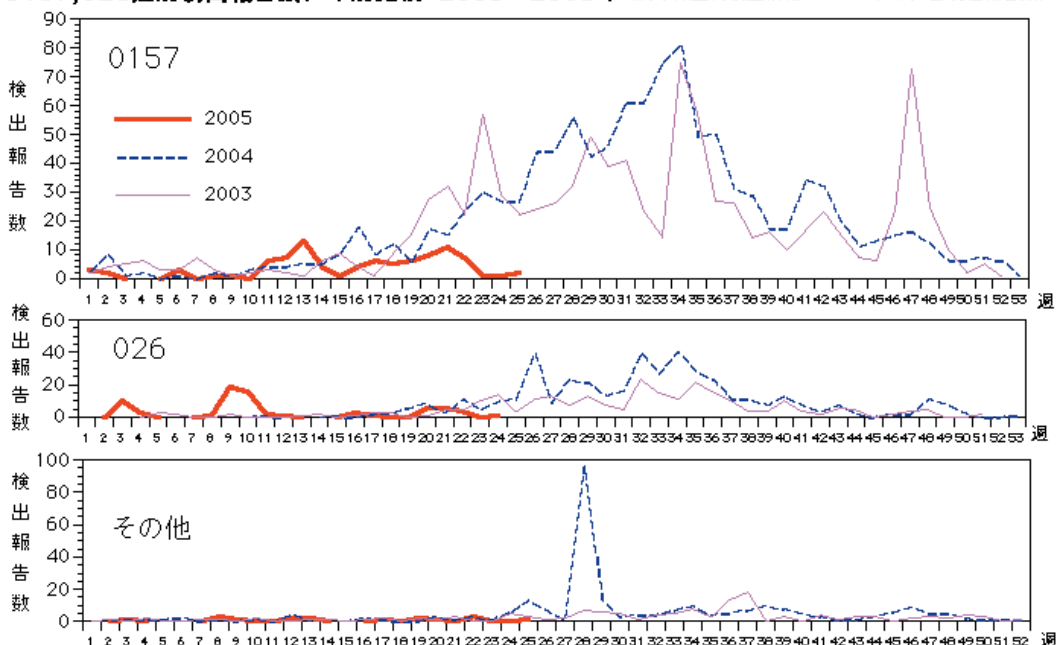


Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

2005年の検出総数は184件で、O157が92件、O26が75件、その他の血清型が17件報告されている。O157は第11～13週に熊本県(IDWR第23週号「速報」参照)、第13～14週に富山県からいずれも飲食店での集団発生事例が報告され、O26は第3週に島根県(IDWR第21週号「速報」参照)、第9～10週に宮城県(IDWR第20週号「速報」参照)から、ともに保育所での集団発生事例が報告されている。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 2003～2005年 (病原微生物検出情報: 2005年7月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





保育園におけるGI、GIIノロウイルス混合感染事例 - 堺市

ノロウイルス (NV) には多様な遺伝子型の存在が知られている。2004年11月~2005年4月に堺市で発生した5事例はすべてが集団感染事例で、genogroup II (GII)、遺伝子型は4型 (GII.4) であった。この成績から、2004/05シーズンにおけるNV流行の主流株と推測されていた。これは大阪府内を含め、全国的にみても同様な状況であった。しかし、2005年5月に保育園で発生したNV集団感染事例から、genogroup I (GI) とGII遺伝子が検出された。2002年3月よりNVの検出を開始して以来、当所では初めてのGI、GII混合集団感染事例となった。その概要と問題点について述べる。

5月20日 (金) 市東部に位置する私立保育園から保健所医療対策課に、4、5歳クラスの園児で嘔吐、下痢の症状を呈する者が複数みられるとの連絡が入った。同クラスの15名も嘔吐、下痢症状で休んでいた。21日には他のクラスにも発症者が拡大し、その後の調査により集団感染と断定された。この保育園には0~5歳の園児212名が在園し、職員は38名で構成されていた。発症者は園児で66名 (発症率31%)、職員で5名 (同13%) であった。

20日に搬入された園児1名の糞便のNV検査からGIが検出された。23日には、園児1名と保育士1名から同様にGIが検出された。GIノロウイルスによる集団感染事例として対応していたが、5月30日、31日に園児計7名の検便を追加実施し、1名からGI、3名からGIIが検出された。GI陽性の4株すべてについて、キャプシッド領域の塩基配列を解析した結果、100%の相同性があった。系統樹解析による遺伝子型別では、GI.4 (AB042808Chiba4078JP) であった。GII陽性3株について同様に解析したところ、すべてが100%の相同性を有し、GII.6 (AB039776SaitamaU397JP) であった。

新規発症者数の推移を示すと、19日、22日にピークを有する2峰性の発生パターンであった。5月16日に下痢症状を呈した園児が2名認められたが、便材料は得られてなく、この事例の発端者であるか否かは不明である。今回の発生事例では前半の検体からGIが、後半の検体からGIIが検出された。GIとGIIノロウイルスによる感染が同時に発生していたのか、あるいは時間差を以って発生したのか判別できなかった。感染事例において、その原因究明には初期検体が極めて重要であることは論を待たない。しかも、同一病原体によるものであるか否かの判定には、できるだけ多数の初期検体が必要である。検体収集がスムーズに行われていたなら、上に述べた疑問点は解決できるものと考えられる。

GIノロウイルスの集団感染事例はそれほど多くない。しかも、園児における集団感染ではGI、GIIノロウイルスの混合感染例の報告はさらに少ない。大阪府内では5月に入り、小学校や保育園等での集団感染事例が多発しているが、今回の事例は今までの流行株と異なったGI.4、GII.6である。これまでと異なった遺伝子型での混合感染が生じた理由は色々考えられる。一つには、色々な遺伝子型のNVの侵淫度が高くなった可能性があるし、二点目はNVの流行株が変化し始めたことによることであろう。

NV流行予測は難しいが、継続した流行株の遺伝子型の集積や解析により、新しい遺伝子型の出現や、それによる症状の軽重などへの対応が可能と考える。

堺市衛生研究所

内野清子 三好龍也 松尾光子 池田芳春 吉田永祥 田中智之

堺市保健所

寺中陽子 杉本光伸 佐々木吉信 柴田仙子 藤井史敏

(IASR 2005年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

小学校を中心としたノロウイルス集団発生 - 大阪府

大阪府管内では昨年(2004年)5、6月に小学校等を中心としたノロウイルスの集団発生が9件発生した。通常、ノロウイルスの流行期は初冬から春先とされてきたが、昨年に引き続き本年も、小学校などを中心としたノロウイルス集団発生が5、6月に多発した。

2005年6月15日現在で、大阪府立公衆衛生研究所にて検査を実施し、ノロウイルスを検出した事例は20件にのぼり、患者数は1,143名となった。100名を超える患者数となった事例は3事例あり、いずれも小学校で発生した。ある事例では、全校生徒580名・職員29名中、386名(63%)の患者が発生した。嘔吐・下痢を示す児童が学年をまたいで散発し、それが次第に拡大した結果、3日間にわたる1つ目の発生ピークになったと考えられた。その後も感染が拡大し、大規模発生となった。その他、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、サポウイルスGIによる集団発生が認められた。

ノロウイルスの検出には、キャプシド領域のN末端を増幅するG1SKF/G1SKRとG2SKF/G2SKRを用いた(一部G1F/G1R、G2F/G2Rを使用)。その増幅領域の塩基配列をダイレクトシーケンスにて決定したところ、GI.3(DSV type)が2事例、GII.2(Melksham type)が5事例、GII.3(Mexico type)、GII.4(CAW type)、GII.5(Hillingdon type)がそれぞれ1事例、GII.6(SaitamaU16、Seacroft type)が6事例、GI.3とGII.6の混合感染事例が1例であった(3事例は解析中)。

昨年の同時期に発生した9事例がすべてGII.2(Melksham type)であったのに対し、本年の流行は数種のgenotypeによって形成されていた。引き続き詳細な解析を行っている。

大阪府立公衆衛生研究所・感染症部

左近直美 山崎謙治 依田知子 塚本定三 大竹 徹

(IASR 2005年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

小学校におけるノロウイルスGIの集団発生事例 - 島根県

県東部のA小学校で6月上旬に、ノロウイルスgenogroup I(GI)を原因とする集団胃腸炎が発生したので、その概要を報告する。

2005年6月7日、医療機関から嘔気を呈するA小学校(児童数300名余)の児童を診察したところ、同じ小学校で嘔気、嘔吐、腹痛を呈する児童が他にもみられるとの情報を得た、との連絡が管轄保健所にあった。保健所の調査で、同小学校では6月5日に全校行事と学年別の懇親会(保護者、児童、教員が参加)があり、患者が6年生に集中し、ほとんどが7日に発症していたことから、当初、懇親会の食事を介した食中毒が疑われた。その後の調査で、6年生には4日に発症した者、および懇親会の料理を食べずに発症した者が複数みられること、1年生にも同様の症状の者が複数みられることが判明した。本事例の患者を、6月4日以降に腹痛、下痢、嘔気、嘔吐のいずれかを呈した者と定義すると、患者数は6年生33名、1年生9名、保護者・兄弟13名、計55名であった。

患者23名の糞便、6年生の懇親会で提供された食品、料理を提供した施設のふきとりについて実施した細菌検査の結果、2名から血清型の異なる*Campylobacter jejuni*が分離された。一方、23名中16名についてリアルタイムPCR法、あるいはRT-PCR法によるノロウイルスの検出を行った結果、10名(6年生9名、1年生1名)がGI陽性となった。G1SKF/Rの増幅産物のダイレクトシークエンシングを行った結果、GI.3型(DSV type)に属し、シークエンスが可能であった9株(6月4日発症者および1年生を含む)では240塩基が100%一致した。

以上の結果から、保健所はノロウイルスGIによる感染と判断し、学校および家庭での二次感染防止を指導した。ノロウイルスGIによる施設での集団感染事例は本県では初めてであるが、5月以降の大阪府の事例でもGI.3型の検出が報告されており(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3052.html>参照)、ウイルスの動向が注目される。なお、県内の5、6月の発生動向調査に伴う感染性胃腸炎患者からは、ノロウイルスGIは検出されていない。

島根県保健環境科学研究所
飯塚節子 波多由紀子
松江保健所
福井公夫

(IASR 2005年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

インドネシアでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年7月1日 - 更新7

2005年6月30日、インドネシアで新たに1名のポリオ患者が確定診断され、患者総数は66名に達した。新規患者はスマトラ島のLampung州から初めて報告された。この3歳女児の麻痺の発症は6月4日である。

今回の患者とその前のCentral Java州の患者はいずれも、緊急モップアップ予防接種キャンペーンの実施された地域外での患者発生である。この緊急モップアップキャンペーンは2005年5月31日から6月2日にかけて、West Java州、Banten州、Jakarta州の年齢5歳以下の小児640万人を対象に実施された。2回目のワクチン接種は6月29日に終了した。

6月26日以降、Central Java州の患者周辺で年齢5歳以下の78,000名の小児を対象とした、集団発生に対する大規模な予防接種が実施された。Lampung州とCentral Java州は、8月から開始される広範囲予防接種キャンペーンの対象地域に含まれる予定である。

WHO/CSR 2005年7月4日 - 更新8

2005年7月4日現在、インドネシアで13名の新規ポリオ患者が確認された。これにより、合計患者数は79人になった。新規患者はBanten州とWest Java州からの報告であった。

スマトラと中央ジャワで最近確認されている患者は、5月31日～6月2日に行われた緊急モップアップ作戦の対象地域外で発生している。

アンゴラでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年7月1日

2005年6月24日、アンゴラ保健省はポリオ患者の発生を報告した。2001年以降、アンゴラでポリオ患者の発生はなかった。4月25日、首都Luanda大都市圏において、経口ポリオワクチン(OPV)接種歴のある月齢17カ月女児が発熱と両下肢の麻痺を発症した。

得られた野生型ポリオウイルス1型株の遺伝子解析で、このウイルスの起源はインドであることが判明した。ウイルス学および疫学的証拠から、このウイルスは最近輸入されたものであることが示唆された。患児とその家族に海外渡航歴はなかった。調査では、市中への感染拡大は認められなかった。

予防接種キャンペーンに先立ち、定期予防接種サービスが行き届かない場所での予防接種が強化された。小児でのポリオワクチン全国定期予防接種率は、推定45%である。

7月29日から31日にかけて、全国規模のポリオ予防接種キャンペーンが計画されている。当局は最大限の効果を挙げるために、患者に最も近接する地域での1価経口ポリオワクチン(mOPV)と、国内の他の地域での3価経口ポリオワクチンとを組み合わせることを考えている。引き続き8月に、2回目の接種が予定されている。

保健当局は直ちに、感染地区や周辺地域で急性弛緩性麻痺(AFP)患者監視を強化し、WHOアフリカ地域支局は近隣諸国に通知した。

Luanda全地区で、全ての地域指導者や宗教指導者、非政府組織、信仰療法者(呪術医)による打ち合わせが行われた。

ベトナムでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/CSR 2005年6月28日 - 更新23

ベトナム保健省は、H5N1型鳥インフルエンザウイルスの新たな感染患者1名を確認した。この患者は、2005年5月に北部Ha Tay省で発生した。

今回の確定患者発生により、2004年12月中旬以降、ベトナムでの鳥インフルエンザ患者は総計60名となり、うち18名が死亡している。現在も、患者4名がハノイ市内の病院で入院治療中である。

WHO/CSR 2005年6月30日 - 更新24

保健省の要望により、WHOは、最近の患者の検査および疫学データを評価し、現在のパンデミックアラートレベルを引き上げるべきかどうかを決定するため、先週ベトナムに国際専門家チームを派遣した。チームのメンバーは、ヒトの臨床検体を用いた鳥インフルエンザウイルス検査について豊富な経験を有する、6カ国の研究機関から選抜された。

同チームは6月29日に作業を完了し、ベトナム政府にその予備的な調査結果を提出した。チームは、鳥インフルエンザによるヒト感染の頻度が大幅に増していることや、同ウイルスがヒト・ヒト感染する能力を獲得したことを示唆する検査結果は確認できなかった。2004年12月以来の現行のパンデミックアラートレベルは、変更されない。

現在出回っている一部の報道では、WHOが(鳥インフルエンザによる)パンデミックの脅威の評価をより低いものへと変更したと示唆している。このような報道は事実無根である。今回の専門家チームが特に要請されたことは、マニラで2005年5月初旬に開催されたWHO国際専門家会議で最初に話題となった(鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染性増強への)懸念を実証するような証拠を調査することであった。

インフルエンザ活動性 - 米国および世界各国 2004/2005年シーズン

CDC/MMWR 2005; 54(25):631-634 2005年7月1日

2004～2005年のインフルエンザシーズンには、世界各国でインフルエンザA(H1N1)型、A(H3N1)型、B型ウイルスが同時循環していたが、なかでもA(H3N2)型が優勢であった。加えてアジア数カ国では、家禽の間で広範囲な鳥インフルエンザA(H5N1)型の流行が引き続き報告されている。これらの国々はベトナム、タイ、カンボジアであり、この流行によりヒト患者における重症インフルエンザや死亡を生じている。米国では2004/2005年インフルエンザシーズンは2月にピークを迎えており、流行の程度は中等度であり、主な原因はA(H3N2)型であった。この報告は2004/2005年インフルエンザシーズンにおける米国、および世界各国のインフルエンザ活動を要約している。(米国におけるインフルエンザ活動性、ウイルス監視体制、抗原解析、インフルエンザ様疾患監視、各州の活動性レベル、インフルエンザに関連した小児科入院状況、肺炎合併とインフルエンザ関連致死率、インフルエンザ関連小児致死率、世界各国のインフルエンザ活動性、鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染ヒト患者発生状況、編集部後記記載、原文参照。)

アメリカ合衆国でのウエストナイルウイルス活動性

CDC/Division of Vector-Borne Infectious Diseases 2005年6月28日

(CDCホームページより)

州	神経侵襲性 ¹⁾	ウエストナイル熱 ²⁾	他/不明 ³⁾	ヒト患者数	死亡者数
カンサス	0	1	0	1	0
ミズーリ	1	0	0	1	1
サウスダコタ	1	3	0	4	0
テキサス	1	0	0	1	0
合計	3	4	0	7	1

1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。

2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。

3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。



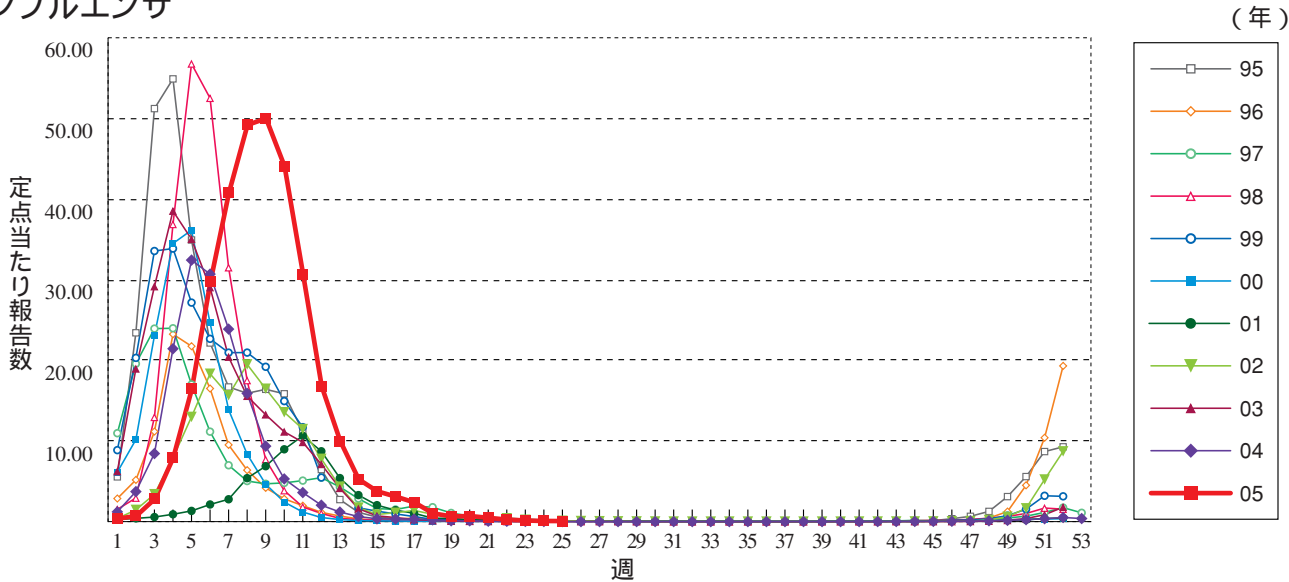
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

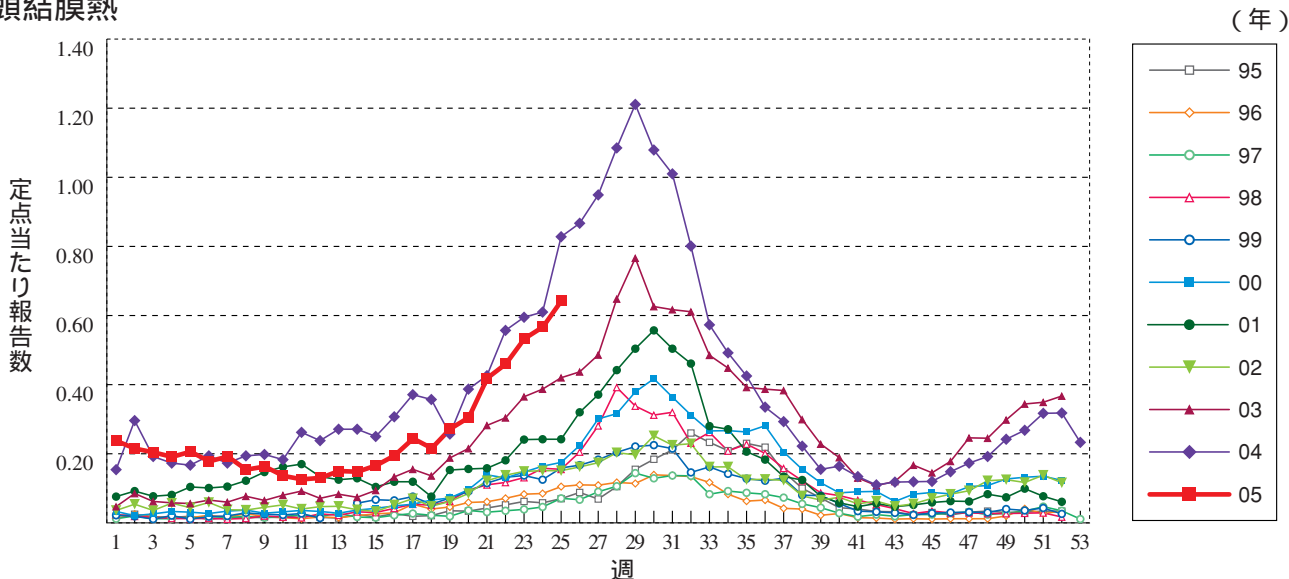


グラフ総覧(25週)

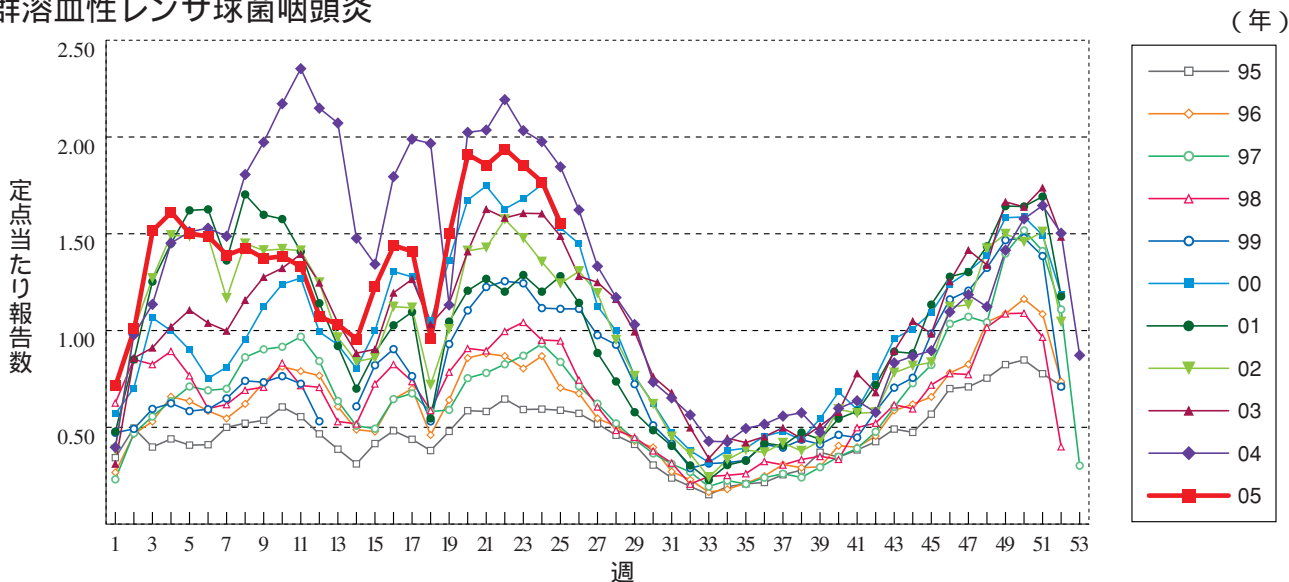
インフルエンザ



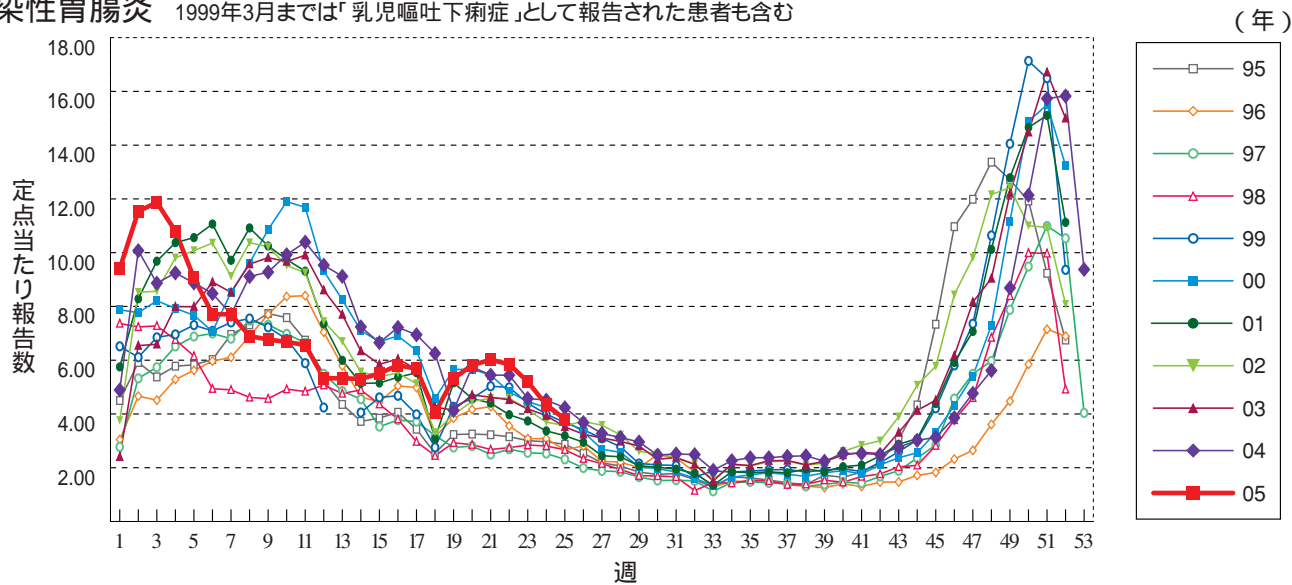
咽頭結膜熱



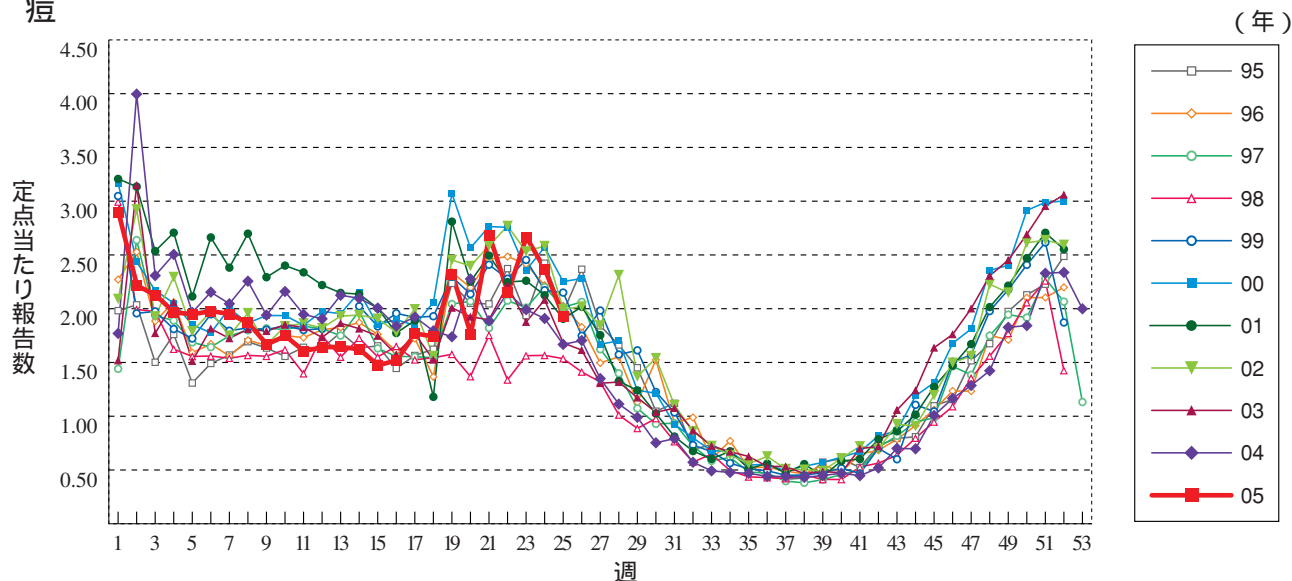
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



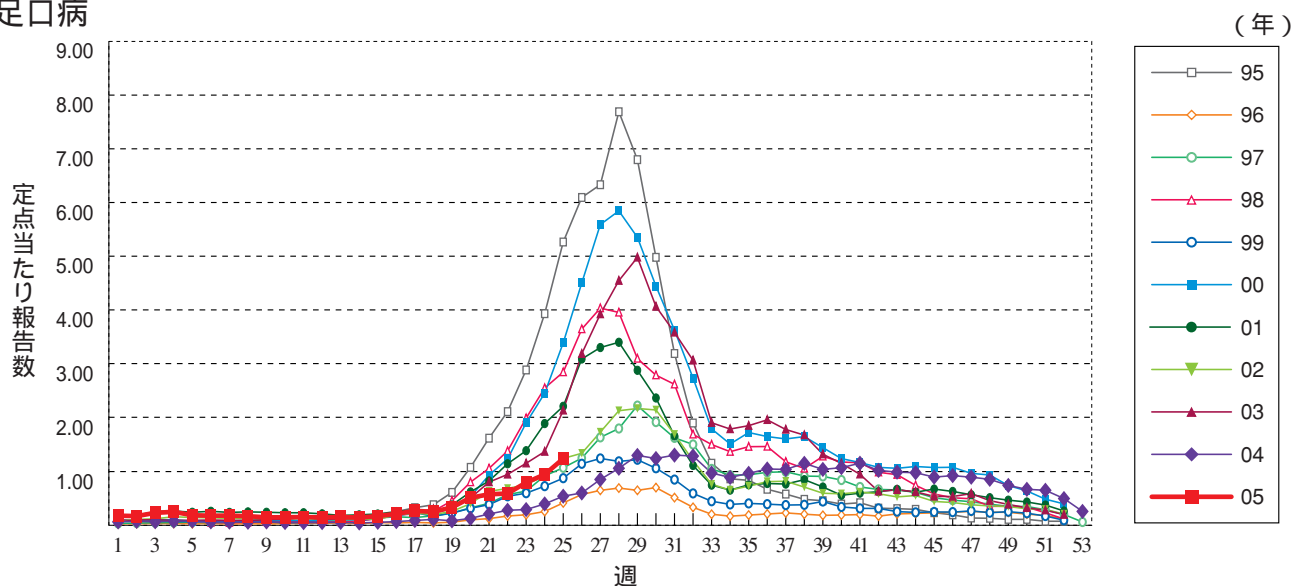
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



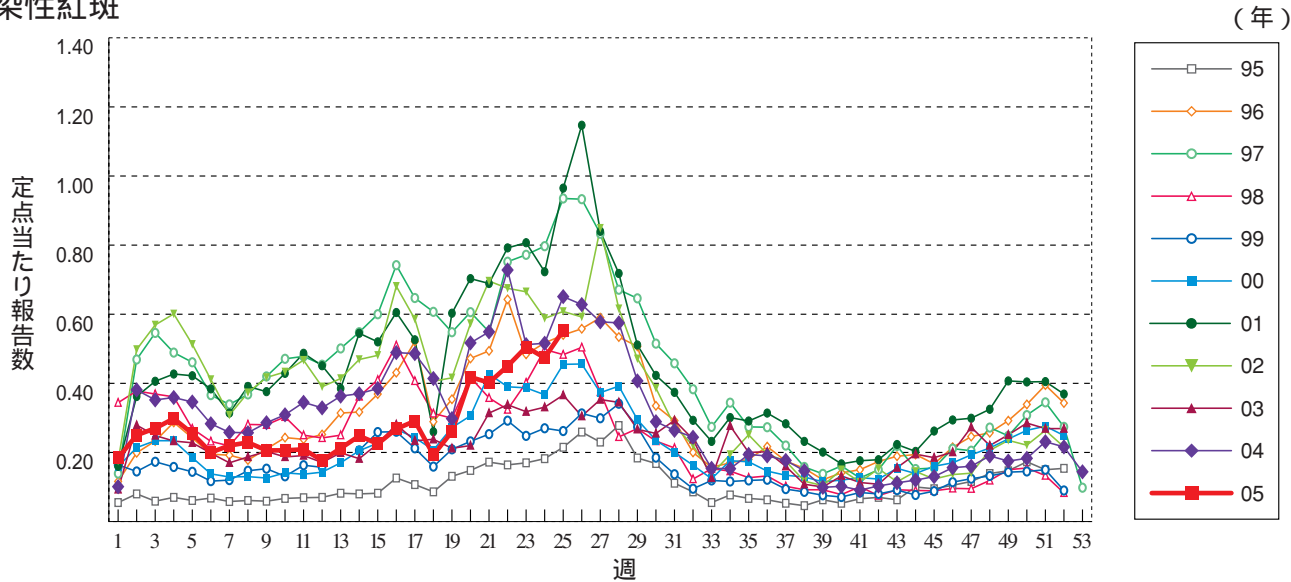
水痘



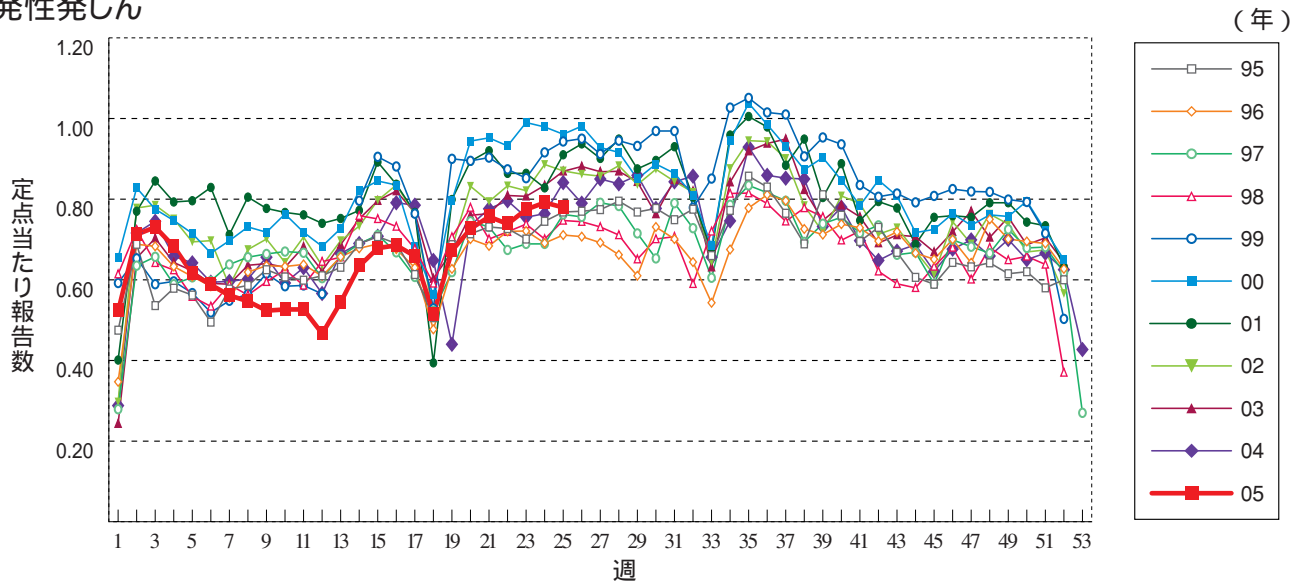
手足口病



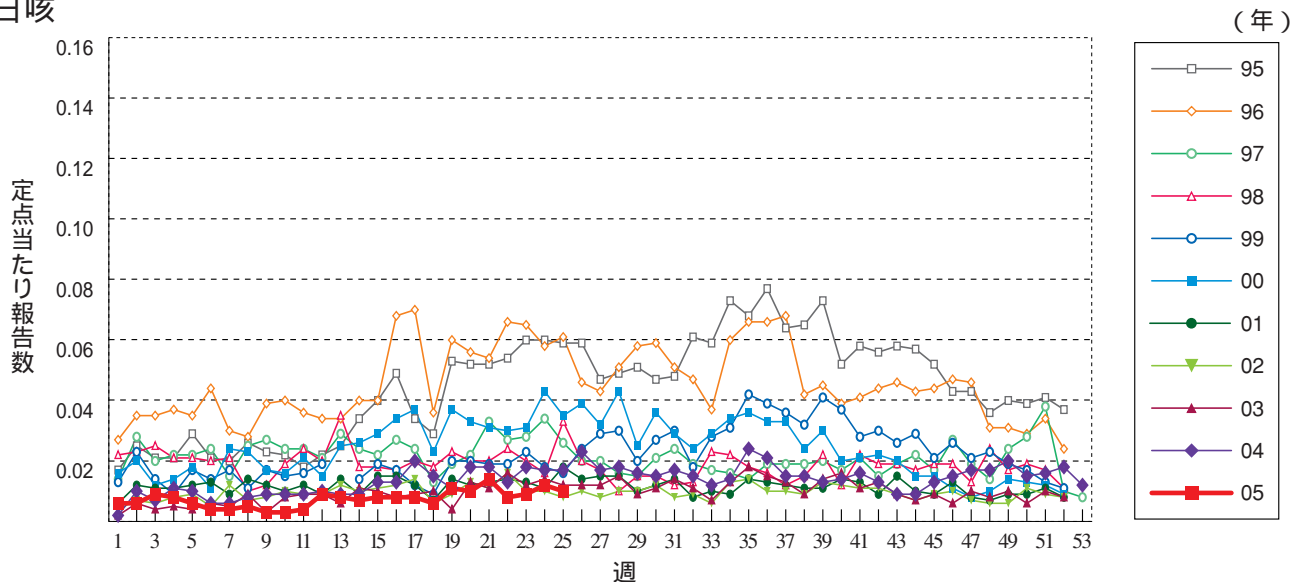
伝染性紅斑



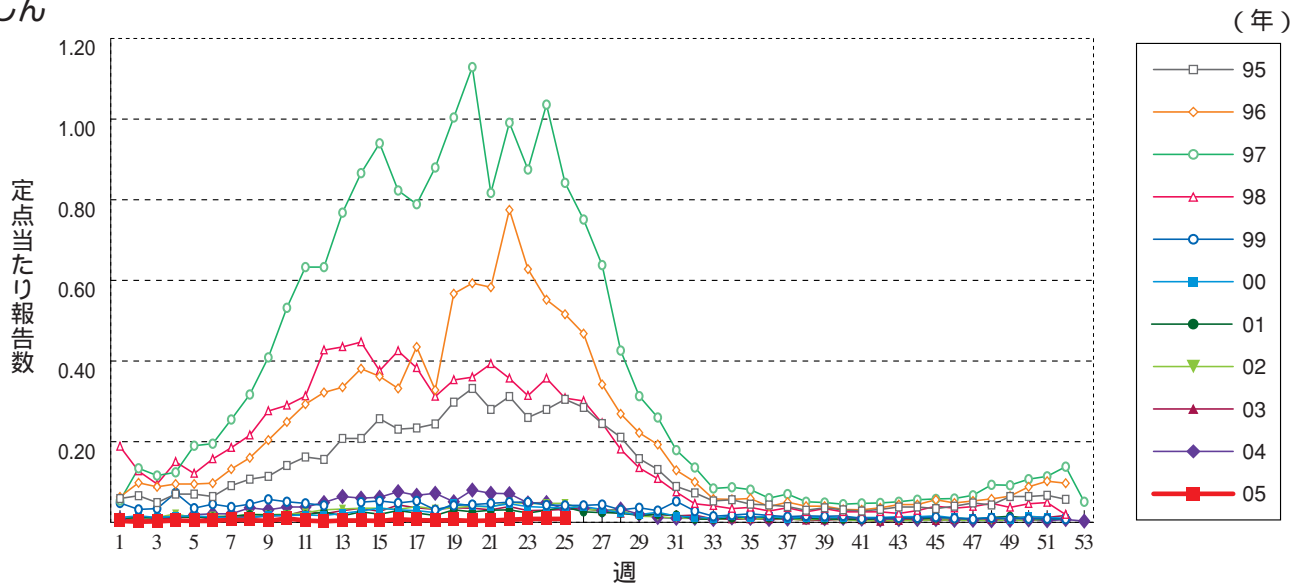
突発性発しん



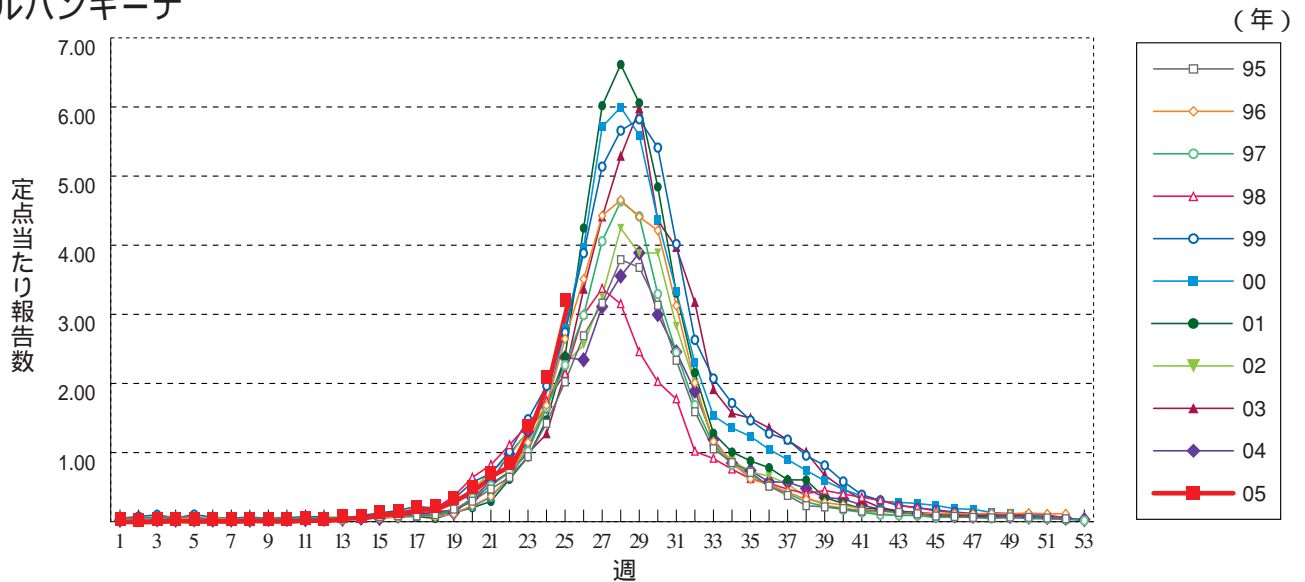
百日咳



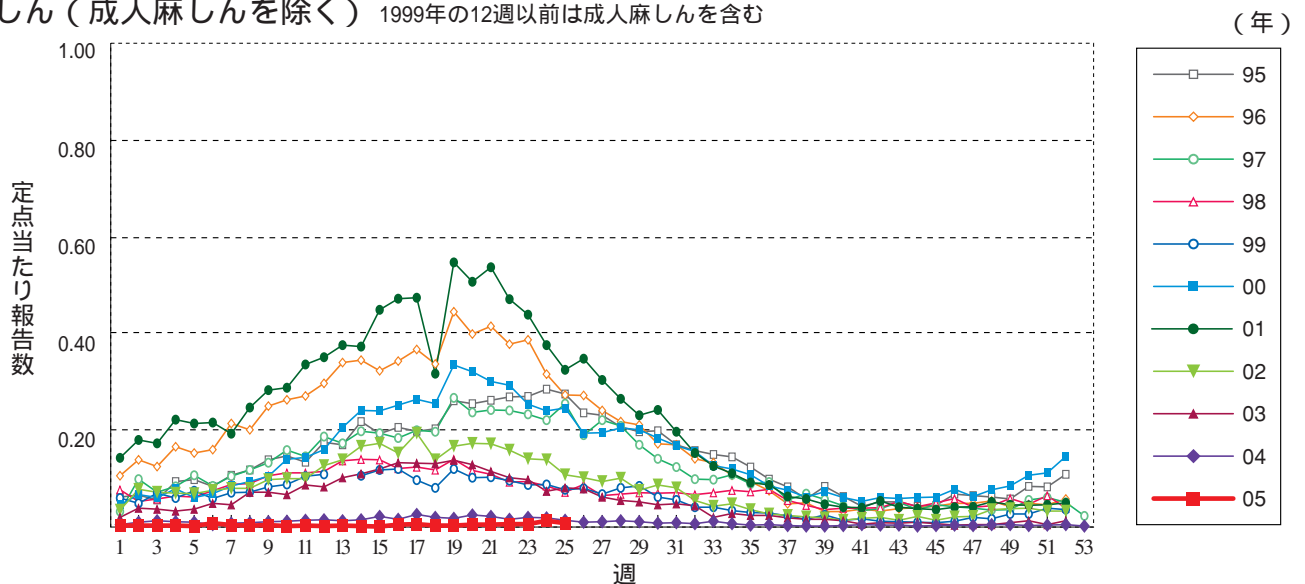
風しん



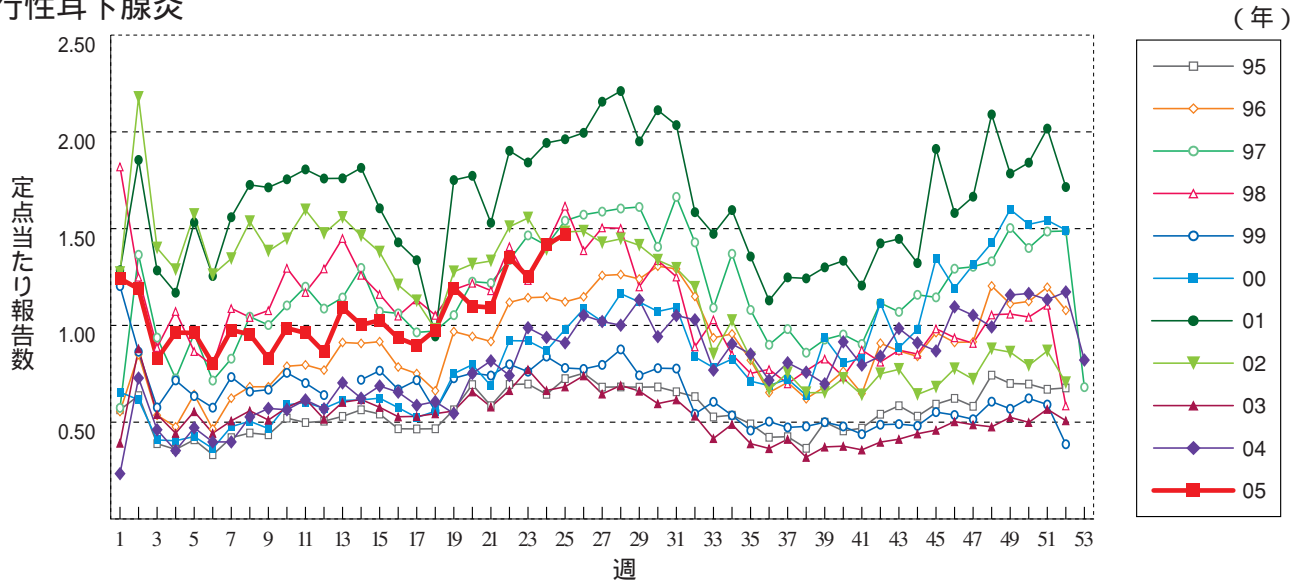
ヘルパンギーナ



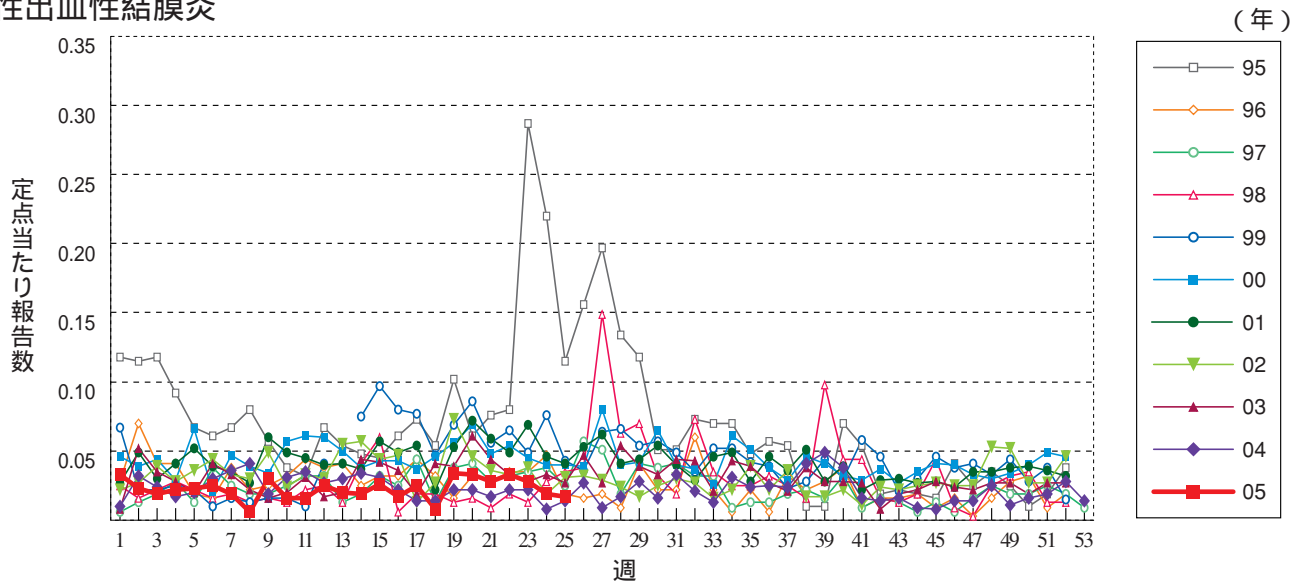
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



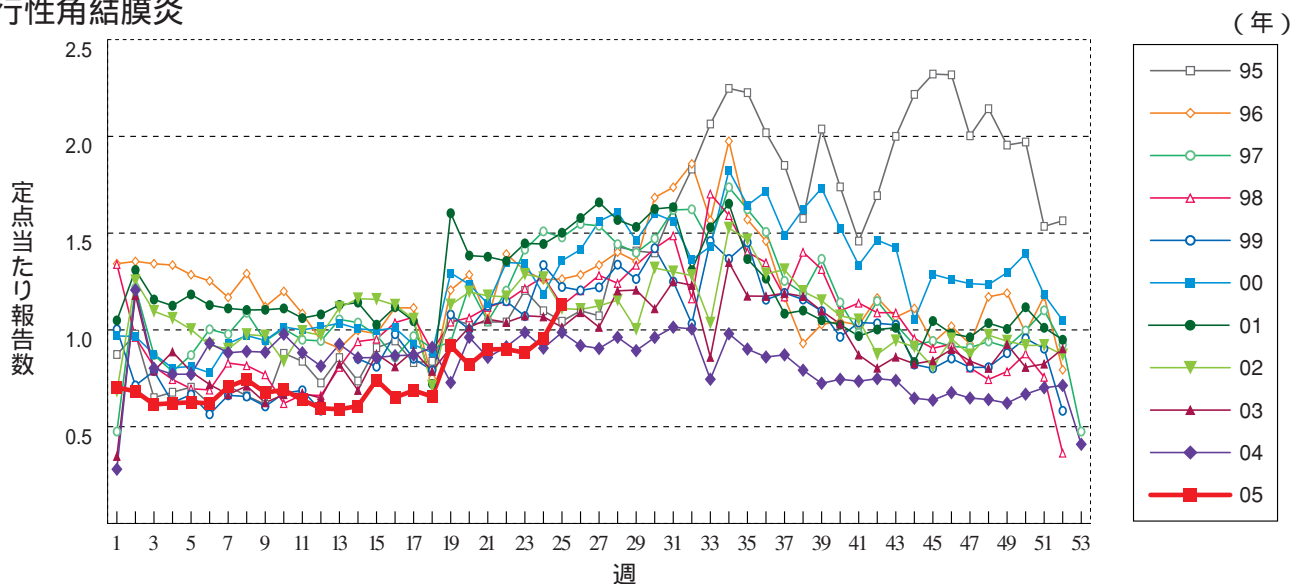
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

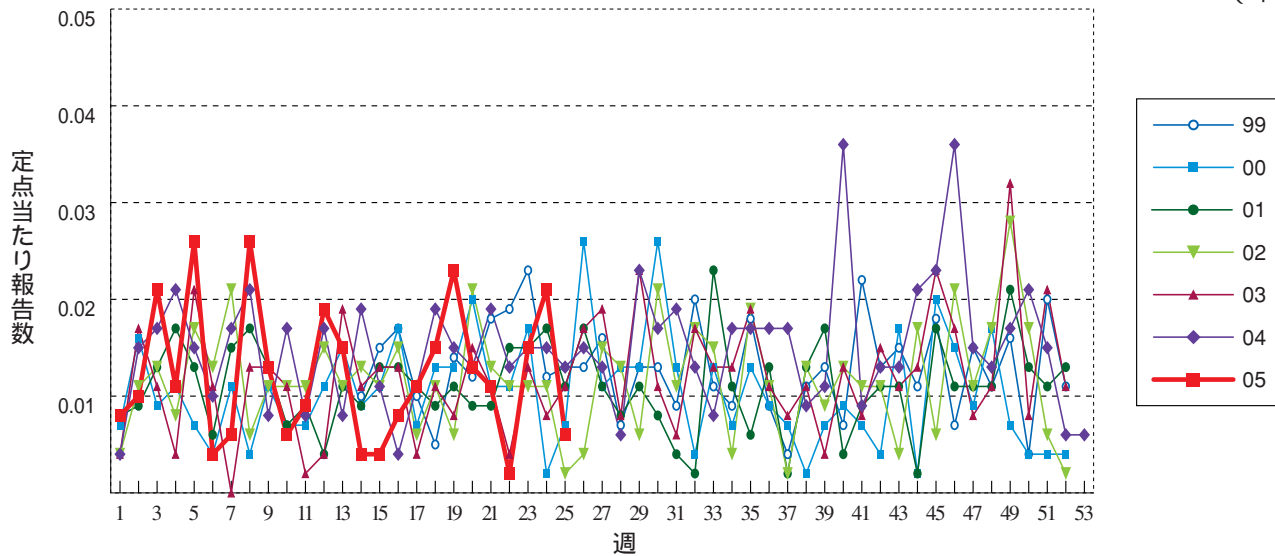


流行性角結膜炎



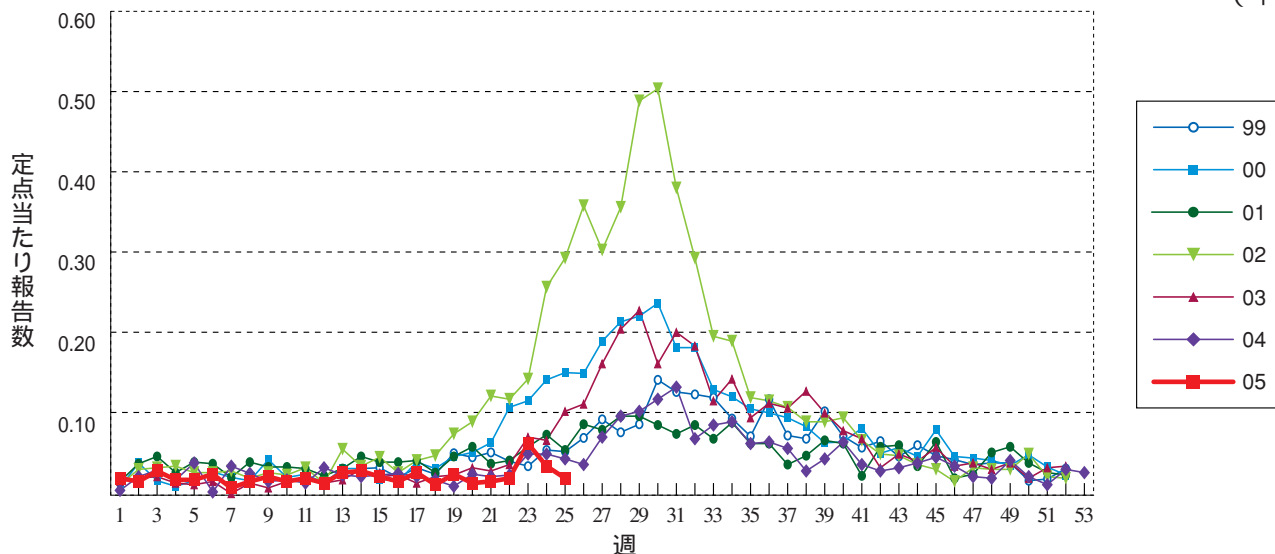
細菌性髄膜炎

(年)



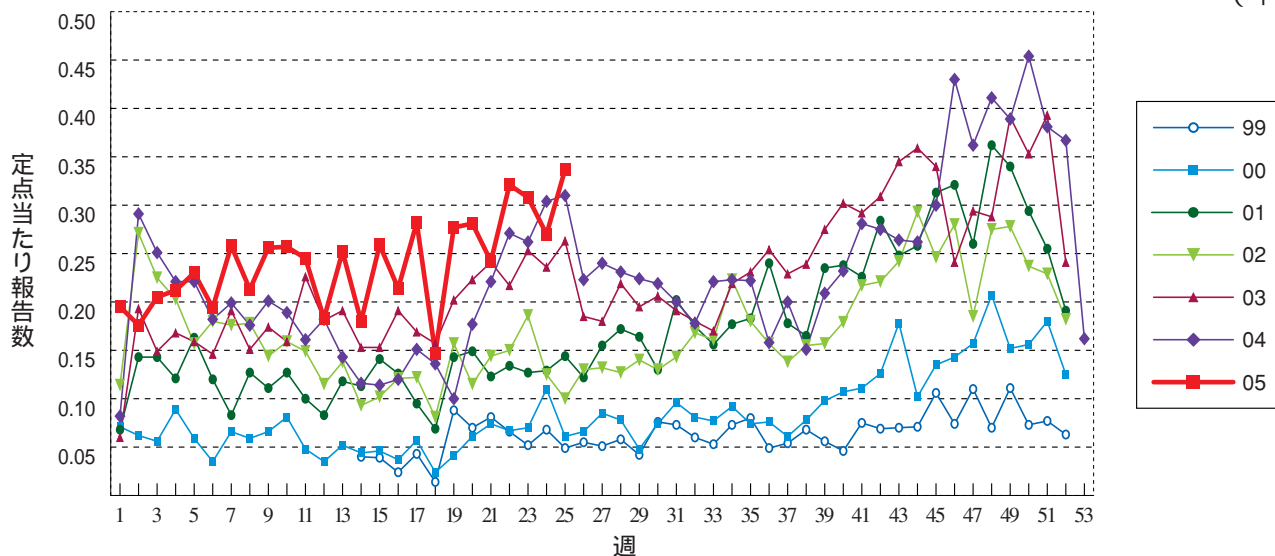
無菌性髄膜炎

(年)



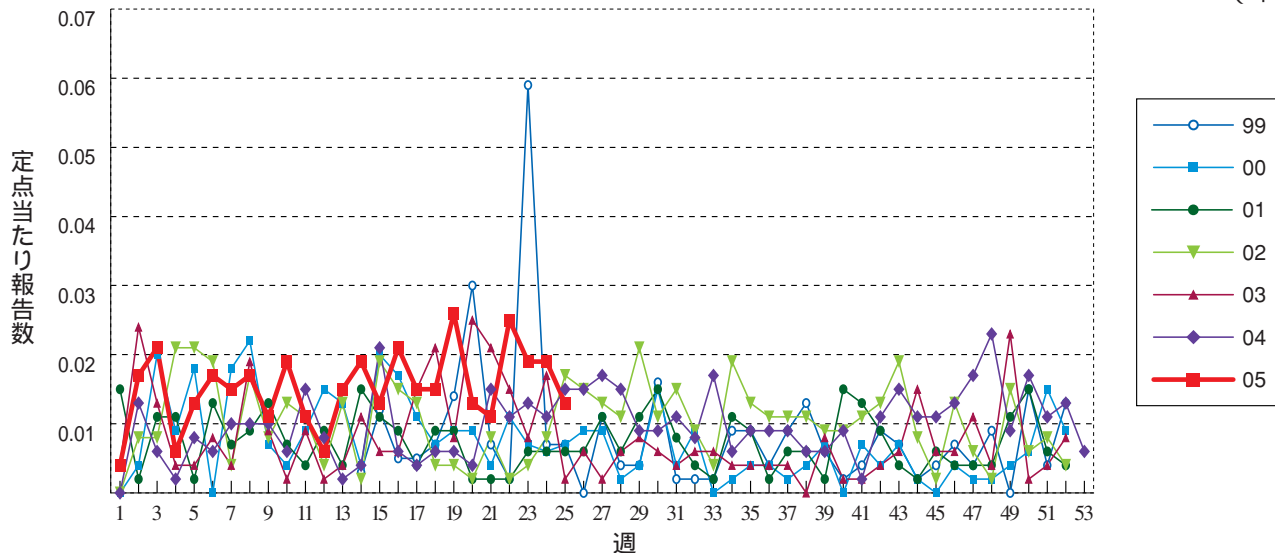
マイコプラズマ肺炎

(年)



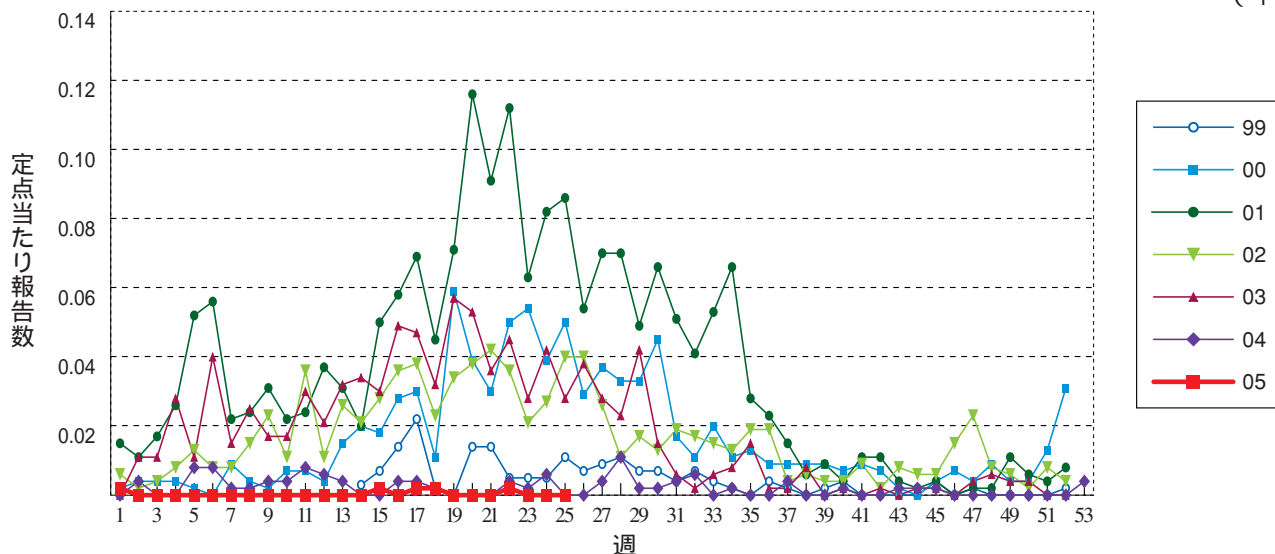
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



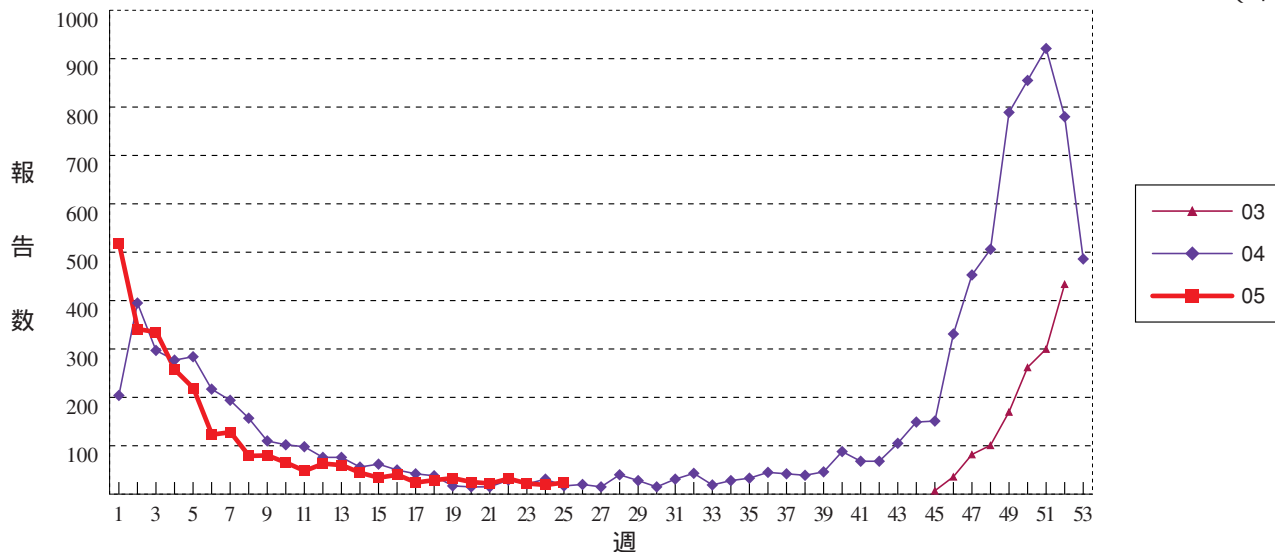
成人麻疹

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





25週のデータ

注)表中の報告数は6月30日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年25週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	7	259	-	23	-	6	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	3	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	39	-	4	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	3	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	44	-	3	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	88	758	11	320	-	10	-	-	1	26	-	-	3	142
北海道	-	-	-	-	4	14	-	6	-	10	-	-	1	1	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	5	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
宮城県	-	-	-	-	-	42	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
秋田県	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	1	25	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	11	30	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	6	33	1	83	-	-	-	-	2	-	-	-	1	25
神奈川県	-	-	-	-	1	17	-	22	-	-	-	-	1	-	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	6	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	1	10	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	1	17	1	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	42	3	22	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	16	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	5	49	1	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
兵庫県	-	-	-	-	1	22	-	16	-	-	-	-	7	-	-	-	-	12
奈良県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	13	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	4	26	1	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	11	-	7	-	-	-	-	2	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	1	24	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	42	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	7	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	5	28	-	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	5	25	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	73	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	7	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	5	2	64	-	30	11	527	-	-	2	29	-	-
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	13	-	-	1	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	27	-	-	-	1	-	-
東京都	-	2	-	-	-	1	-	9	-	2	2	186	-	-	1	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	-	22	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	19	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	31	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	65	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3	-	15	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	14	-	-	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	-	-	-	4	84	1	16	1	11	-	-	5	238	2	43
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	1	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2
東京都	-	2	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	36	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	34	-	1
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	13	1	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	4	-	-	-	7	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	2	75
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
東京都	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	27	-	-	1	105	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	-	116	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年25週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	327	0.07	1960	0.64	4730	1.55	11614	3.81	5860	1.92	3777	1.24	1685	0.55	2381	0.78	30	0.01
北海道	8	0.03	100	0.69	289	1.99	241	1.66	320	2.21	89	0.61	23	0.16	75	0.52	-	-
青森県	-	-	28	0.67	28	0.67	58	1.38	112	2.67	94	2.24	45	1.07	27	0.64	-	-
岩手県	3	0.05	10	0.27	21	0.57	111	3.00	50	1.35	19	0.51	11	0.30	23	0.62	-	-
宮城県	10	0.10	20	0.33	85	1.39	315	5.16	136	2.23	97	1.59	41	0.67	55	0.90	-	-
秋田県	-	-	21	0.60	35	1.00	121	3.46	29	0.83	11	0.31	37	1.06	18	0.51	-	-
山形県	-	-	16	0.53	82	2.73	74	2.47	58	1.93	5	0.17	6	0.20	28	0.93	-	-
福島県	2	0.03	37	0.77	39	0.81	295	6.15	109	2.27	180	3.75	56	1.17	42	0.88	-	-
茨城県	5	0.04	20	0.27	176	2.38	196	2.65	135	1.82	73	0.99	30	0.41	42	0.57	1	0.01
栃木県	1	0.01	23	0.50	50	1.09	104	2.26	71	1.54	74	1.61	18	0.39	32	0.70	-	-
群馬県	-	-	24	0.39	74	1.19	232	3.74	158	2.55	60	0.97	8	0.13	39	0.63	-	-
埼玉県	6	0.02	175	1.07	343	2.10	903	5.54	376	2.31	270	1.66	115	0.71	157	0.96	-	-
千葉県	-	-	45	0.34	269	2.04	490	3.71	341	2.58	146	1.11	71	0.54	98	0.74	3	0.02
東京都	2	0.01	122	0.86	218	1.54	520	3.66	206	1.45	188	1.32	85	0.60	93	0.65	1	0.01
神奈川県	1	0.00	126	0.61	380	1.84	930	4.51	437	2.12	346	1.68	283	1.37	182	0.88	1	0.00
新潟県	1	0.01	57	0.95	135	2.25	210	3.50	113	1.88	52	0.87	12	0.20	53	0.88	1	0.02
富山県	-	-	8	0.28	39	1.34	100	3.45	75	2.59	29	1.00	13	0.45	15	0.52	-	-
石川県	-	-	49	1.69	66	2.28	90	3.10	46	1.59	15	0.52	5	0.17	24	0.83	-	-
福井県	1	0.03	30	1.36	48	2.18	136	6.18	62	2.82	4	0.18	7	0.32	23	1.05	-	-
山梨県	-	-	6	0.24	24	0.96	56	2.24	48	1.92	12	0.48	27	1.08	9	0.36	-	-
長野県	10	0.11	26	0.47	100	1.82	204	3.71	141	2.56	14	0.25	28	0.51	31	0.56	1	0.02
岐阜県	-	-	31	0.58	78	1.47	97	1.83	126	2.38	44	0.83	14	0.26	20	0.38	1	0.02
静岡県	-	-	71	0.83	123	1.43	457	5.31	229	2.66	157	1.83	58	0.67	60	0.70	-	-
愛知県	1	0.01	148	0.81	257	1.41	566	3.11	399	2.19	162	0.89	35	0.19	126	0.69	1	0.01
三重県	1	0.01	16	0.36	70	1.56	250	5.56	115	2.56	49	1.09	6	0.13	51	1.13	-	-
滋賀県	-	-	24	0.73	22	0.67	95	2.88	78	2.36	14	0.42	2	0.06	26	0.79	-	-
京都府	3	0.02	10	0.13	62	0.83	231	3.08	106	1.41	45	0.60	43	0.57	33	0.44	-	-
大阪府	2	0.01	115	0.58	347	1.75	751	3.79	302	1.53	142	0.72	73	0.37	130	0.66	3	0.02
兵庫県	8	0.04	73	0.57	199	1.55	608	4.75	225	1.76	82	0.64	57	0.45	99	0.77	1	0.01
奈良県	1	0.02	20	0.59	42	1.24	119	3.50	54	1.59	79	2.32	18	0.53	18	0.53	-	-
和歌山県	-	-	15	0.50	16	0.53	105	3.50	58	1.93	14	0.47	12	0.40	28	0.93	-	-
鳥取県	2	0.07	5	0.26	36	1.89	123	6.47	29	1.53	45	2.37	9	0.47	30	1.58	-	-
島根県	1	0.03	13	0.57	19	0.83	85	3.70	55	2.39	31	1.35	18	0.78	22	0.96	-	-
岡山県	2	0.02	8	0.15	48	0.89	155	2.87	59	1.09	36	0.67	8	0.15	41	0.76	-	-
広島県	4	0.03	34	0.45	84	1.12	301	4.01	161	2.15	402	5.36	21	0.28	61	0.81	9	0.12
山口県	2	0.03	38	0.78	103	2.10	246	5.02	69	1.41	157	3.20	17	0.35	51	1.04	-	-
徳島県	2	0.05	12	0.52	34	1.48	59	2.57	29	1.26	38	1.65	7	0.30	15	0.65	1	0.04
香川県	-	-	12	0.38	39	1.22	86	2.69	22	0.69	10	0.31	13	0.41	21	0.66	-	-
愛媛県	4	0.07	39	1.05	65	1.76	178	4.81	39	1.05	18	0.49	2	0.05	47	1.27	-	-
高知県	-	-	18	0.58	44	1.42	75	2.42	44	1.42	9	0.29	7	0.23	19	0.61	2	0.06
福岡県	1	0.01	210	1.75	174	1.45	627	5.23	207	1.73	117	0.98	206	1.72	151	1.26	2	0.02
佐賀県	-	-	18	0.78	23	1.00	36	1.57	53	2.30	15	0.65	18	0.78	35	1.52	-	-
長崎県	-	-	14	0.32	32	0.73	120	2.73	87	1.98	20	0.45	21	0.48	25	0.57	-	-
熊本県	7	0.09	24	0.50	58	1.21	178	3.71	60	1.25	74	1.54	20	0.42	59	1.23	-	-
大分県	-	-	15	0.42	83	2.31	251	6.97	61	1.69	24	0.67	6	0.17	53	1.47	-	-
宮崎県	7	0.12	26	0.70	101	2.73	208	5.62	47	1.27	9	0.24	15	0.41	47	1.27	-	-
鹿児島県	6	0.06	7	0.13	56	1.00	193	3.45	86	1.54	24	0.43	52	0.93	38	0.68	2	0.04
沖縄県	223	3.84	1	0.03	14	0.41	28	0.82	37	1.09	182	5.35	6	0.18	9	0.26	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	31	0.01	9774	3.21	23	0.01	4483	1.47	11	0.02	728	1.13	3	0.01	10	0.02	158	0.34
北海道	1	0.01	163	1.12	-	-	169	1.17	-	-	25	0.86	-	-	-	-	2	0.09
青森県	-	-	43	1.02	-	-	25	0.60	-	-	3	0.27	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	2	0.05	108	2.92	-	-	22	0.59	-	-	24	2.00	-	-	-	-	7	0.35
宮城県	1	0.02	119	1.95	-	-	67	1.10	2	0.17	1	0.08	-	-	-	-	26	2.17
秋田県	-	-	64	1.83	-	-	16	0.46	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
山形県	-	-	175	5.83	-	-	62	2.07	-	-	8	1.00	-	-	-	-	4	0.40
福島県	1	0.02	153	3.19	-	-	76	1.58	-	-	11	0.92	-	-	-	-	5	0.71
茨城県	-	-	132	1.78	1	0.01	178	2.41	1	0.06	31	1.94	-	-	-	-	8	0.73
栃木県	-	-	159	3.46	-	-	25	0.54	-	-	35	2.92	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	3	0.05	237	3.82	6	0.10	59	0.95	-	-	25	1.79	-	-	-	-	8	0.80
埼玉県	3	0.02	963	5.91	-	-	287	1.76	-	-	56	1.40	-	-	-	-	13	1.44
千葉県	2	0.02	580	4.39	5	0.04	293	2.22	-	-	44	1.29	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	525	3.70	1	0.01	206	1.45	-	-	12	0.86	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	735	3.57	2	0.01	370	1.80	-	-	88	2.10	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.03	87	1.45	-	-	48	0.80	-	-	4	0.50	-	-	-	-	7	0.54
富山県	-	-	374	12.90	1	0.03	57	1.97	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	98	3.38	-	-	101	3.48	-	-	12	1.71	1	0.20	-	-	10	2.00
福井県	-	-	77	3.50	-	-	59	2.68	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	25	1.00	-	-	10	0.40	-	-	4	1.33	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	219	3.98	-	-	89	1.62	-	-	8	0.73	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	285	5.38	-	-	64	1.21	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	489	5.69	-	-	185	2.15	-	-	27	1.35	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	3	0.02	1161	6.38	-	-	280	1.54	-	-	51	1.46	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	529	11.76	-	-	51	1.13	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	2	0.06	64	1.94	1	0.03	47	1.42	-	-	5	0.71	-	-	1	0.14	-	-
京都府	1	0.01	131	1.75	2	0.03	75	1.00	-	-	3	0.17	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	2	0.01	464	2.34	2	0.01	200	1.01	1	0.02	18	0.35	-	-	1	0.07	7	0.50
兵庫県	1	0.01	250	1.95	1	0.01	100	0.78	-	-	19	0.54	-	-	-	-	2	0.14
奈良県	-	-	87	2.56	-	-	65	1.91	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	94	3.13	-	-	29	0.97	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	14	0.74	-	-	15	0.79	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	20	0.87	-	-	25	1.09	-	-	6	2.00	-	-	1	0.13	1	0.13
岡山県	-	-	16	0.30	-	-	43	0.80	-	-	10	0.83	-	-	-	-	8	1.60
広島県	1	0.01	26	0.35	-	-	207	2.76	-	-	33	1.65	-	-	4	0.21	3	0.16
山口県	-	-	27	0.55	-	-	42	0.86	1	0.11	2	0.22	-	-	-	-	8	0.89
徳島県	-	-	51	2.22	1	0.04	13	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	29	0.91	-	-	58	1.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	92	2.49	-	-	54	1.46	-	-	15	1.88	-	-	-	-	2	0.33
高知県	1	0.03	43	1.39	-	-	25	0.81	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	250	2.08	-	-	241	2.01	2	0.08	27	1.04	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	63	2.74	-	-	40	1.74	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	1	0.02	89	2.02	-	-	67	1.52	3	0.38	14	1.75	-	-	1	0.08	-	-
熊本県	-	-	172	3.58	-	-	126	2.63	-	-	10	1.11	1	0.07	2	0.13	2	0.13
大分県	-	-	113	3.14	-	-	37	1.03	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.05	102	2.76	-	-	52	1.41	-	-	15	3.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	76	1.36	-	-	67	1.20	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	56	1.65	-	-	24	2.40	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年25週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	6	0.01	-	-	24
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	11
神奈川県	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年25週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第25号 平成17年7月8日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。